



津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



2020～2021

例会日/毎火曜日

例会場/プラザ洞津 津市新町1-6-28

事務所/津市大門7-15

都シティ津1F

TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/何川 高

幹事/日南田隆司

E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp

ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/

第2608回例会 2020年10月13日(火) 天候 晴

—— 10月は経済と地域社会の発展月間・米山月間 ——



例会予定

- 10月20日(火) 会員卓話 刀根 大士会員
- 10月27日(火) 外来卓話 伊勢鉄道(株)
代表取締役専務 岩崎 栄一様
- 11月3日(火) 法定休日
- 11月10日(火) 月間関連卓話
地区ロータリー財団委員長 平井 義之様

進行担当

〔林SAA〕

国歌斉唱 ロータリーソング 我等の生業

出席報告

〔細山田委員〕

10月13日 出席率 45名中 36名 80.00%
7月28日 修正出席率 46名中 46名 100.0%

ニコBOX

〔大熊委員〕

何川 高君 杉山会員、卓話楽しみにしています。
日南田隆司君 今月の例会は、今日を含め残り3回プラザ洞津です。杉山会員、卓話よろしくお願ひします。

村木 正二君 お久しぶりです。杉山さん本日の卓話御苦勞様です。

大川 吉崇君 ・刀根様には貴重なものをありがとうございました。お礼申し上げます。

- ・『ロータリーの友』9月号に、“変態が改革する多様性社会”(77頁)があり、ライフネット生命保険を立ち上げた三重県出身(美杉生・上野高校・京都大学)の出口治明氏の執筆ですが、経営するものにとっても刺激になる内容でした。
- ・杉山様の卓話拝聴させていただきます。

庄司 正樹君 杉山さん会員卓話楽しみにしています。!

杉山 直士君 本日の会員卓話よろしくお願ひします。つたない説明で恐縮ですが最後までおつき合い下さい。

会長報告

〔何川会長〕

◆ 世界は今、アメリカのトランプ大統領のコロナ感染が発端となったホワイトハウスのクラスターが話題となっています。政府の主要なスタッフが次々に感染し、政権の運用に支障が出るのではと懸念されています。ところでこのホワイトハウス、実は1790年の今日、アメリカ初代大統領のジョージ・ワシントンが、現在の地に着工を命じ、8年後に完成したのであります。完成した時点でワシントンは既に死亡していました。その後、1814年に戦われた米英戦争の時に、イギリス軍の焼き討ちにあい、この大統領府は焼失しましたが、1817年に同じ場所に再建し、この時に外壁を白く塗装したことで、ホワイトハウスと呼ばれるようになったのです。皆さんご存知のように、この建物は四つの部分からなっており、大統領とその家族の居住部分から、大統領の執務室、さらに政府の主要スタッフのオフィスから、記者会見場まで、なんでも詰まっております。そこにコロナウイルスが蔓延しつつあるというのは、まさに世界的な危機といっても大げさではないと思います。この危機をどう乗り切るのか、トランプ政権の危機対応能力が試されていると思います。日本政府も、そして我々国民もこのニュースを見て、もって他山の石としなければならないと思います。

幹事報告

〔日南田幹事〕

- ★ 増強缶バッチ配布の件 (ガバナー事務所より)
- ★ 10月20日例会終了後、定例理事会開催の件

杉山直士会員の卓話楽しみにしています。!
西井健之君、千原一典君、刀根大士君、山本哲司君、奥田邦雄君、竹内敏明君、羽根昌江君、樋口直人君、薄井美弥君、宮崎吉史君、伊藤孝行君、松田英明君、中尾哲也君、伊藤 仁君、今西孝彰君、鈴木康義君、野地洋彰君、吉村哲夫君、澤田勝志君、高林 学君、林 裕行君、川喜田久君、岡部宏司君、大池雅之君、山本哲也君、大熊将弘君、細山田誠二君、今野信太郎君

近年の激甚化・広域化する 災害対応とドコモの災害対策

杉山 直士 会員

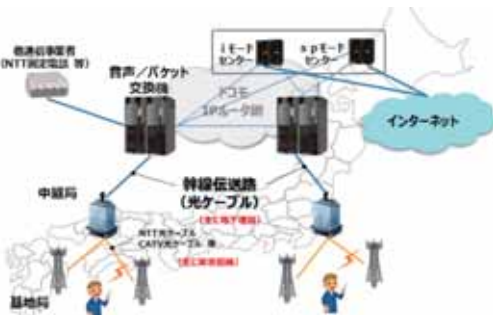
近年、大雨や台風等生活を脅かすほど災害は激甚化・広域化しております。令和2年7月の九州地方を襲った豪雨や令和元年の台風15号等は皆さんの記憶に新しいところと思います。

そんな中、我々通信事業者の「使命」である通信インフラの確保の取組みについて知っていただきたく、今回の卓話のテーマは「近年の激甚化・広域化する災害対応とドコモの災害対策」とさせていただきます。

なお、このような取り組みはドコモだけでなく他の通信インフラ事業者も同様な取り組みをされていますので我々の取組みを参考にいただければと思います。

◆携帯電話のつながるしくみ

ご存じの方も多いと思いますが、携帯電話は電波を通じて音声やパケット（データ）のやり取りをしています。携帯電話から発信された音声やパケットは、『基地局』と呼ばれるアンテナ・無線設備で受信し、全国の交換機を経由して相手の携帯電話へ着信したり、インターネットへ接続される仕組みとなっています。



基地局の運用には電気と光ケーブルが不可欠となります。災害復旧には重要な要素となります。

◆災害への取組み

ドコモは設立当初より災害対策には力を入れてきましたが、2011年の東日本大震災や2018年の各激甚災害の教訓から「新たな災害対策」・「更なる災害対策」と災害対策を強化・充実してきました。

○東日本大震災を踏まえた災害対策

- ・重要エリアにおける通信の確保
 - 災害時における通信確保のための「大ゾーン基地局」を全国で106箇所設置
 - 都道府県庁、市区町村役場等の通信を確保するため基地局の無停電化、バッテリーの24時間化を推進（約1,900局）
- ・被災エリアへの迅速な対応
 - 衛星システムを活用したエリアの早期構築（衛星エントランス基地局の増設）
 - マイクロエントランス回線を活用した機動的なエリア構築（非常用マイクロ設備の配備：全国120区間）
 - 衛星携帯電話の即時提供による避難所等の通信確保
- ・災害時におけるお客様の更なる利便性向上

- 災害時に強いパケット通信を活用した「災害用音声お届けサービス」の開発
- 復旧エリアマップの拡充
- 操作性向上の為、災害用伝言板の音声ガイダンス対応
- エリアメールの更なる活用（津波警報への拡大等）
- SNS等との連携によるICT活用の更なる推進

○更なる災害対策の推進

2018年の北海道胆振東部地震を踏まえ、上記に加えて更なる「災害対策」として以下の取組みを実施

- ・広域・長時間停電への備え
 - ドコモショップへの蓄電池や太陽光発電システムの設置
 - 基地局、ビルの非常用電源強化
 - ・重要通信の確保・信頼性向上
 - 中ゾーン基地局の充実
 - 重要基地局の水害対策等による信頼性強化
 - 伝送路多ルート化の促進
 - ・通信サービスの早期復旧
 - 非常用基地局の増配備（可搬衛星設備等）
 - 衛星回線帯域の拡大
 - ・被災地支援強化
 - 復旧エリアマップの高度化
 - 貸し出しスマホ・タブレットの増配備
- ※2年間で200億円規模の対策を実施

◆直近の災害対応事例

- ・令和元年台風15号：関東直撃としては史上最強クラス
 - 記録的な暴風影響により関東・東海を中心に被害発生
 - 最大で1,215局のサービス中断。10日後にはエリア影響無い状態に回復
 - ドコモグループ及び通信会社等が一丸となり、約2,000名/日体制で復旧を実施
- ・令和元年台風19号：大型で非常に強い勢力を維持し東海・関東・東北地方に上陸
 - 記録的な暴風雨影響に加え、河川氾濫による停電の長期化や設備の水没等により91市町村にエリア影響及ぼした。
 - 最大で679局のサービス中断。災害対策機器により復旧活動を実施。

◆ドコモで提供させていただく災害ソリューション

ドコモの安定した通信基盤を活用した防災ソリューションも多くの自治体・企業様にご活用いただいております。



本日はありがとうございました。ドコモの取組みについて何かお知りになりたいことがあれば何なりとお聞きください。